

第2回 開催報告

（出席者）	職	員：25 名
	事 務 局	：4 名（総合戦略室）
	オブザーバー	：1 名（藤井市長）
	ファシリテーター	：4 名（ジャパン総研）

1 次第

- 18：30 ～ 開会あいさつ
藤井市長あいさつ
- 18：40 グループワーク
『理想の未来にするための「まち・ひと・しごとの条件」を考える』
それぞれの“理想の美濃加茂市像”を実現するために必要な条件を、「短期」「中長期」の区分に分けて意見交換する。
- 19：40 各グループの成果発表
- 20：00 閉会あいさつ、事務連絡

2 開催結果

（1）グループワークの発表

【Aグループ（20 歳代、30 歳代女性職員グループ）】

理想①「若い世代が増える・住み続ける」

住もうと思っても「仕事がない」「魅力がない」ではなかなか若者は住まない。住んでいても、魅力がないと他に住んで美濃加茂市に働きに来るということになる。魅力とは、若者視点の発想で言うと「遊ぶところ」がないということである。行きたくなるようなおしゃれな場所がたくさんあればいいと思う。一つの例としては、岐阜市の玉宮町のようなところである。おしゃれな人が住んでいると自分も住みたいと思う。おしゃれな場所にはおしゃれな人が集まるだろうという発想から、おしゃれな人、かっこいい人がいるといいと思う。



理想②「子どもたちがどこでも遊べる（自然・安全）」

今の子どもたちは、ゲームや家の中で遊ぶことは得意でも、屋外で遊ぶことを知らない。そこで、ザリガニ釣りや泥遊びなどの自然の中での遊び方を知ってもらう機会をつくる。また、遊んでいて転んでも、痛くない地面がたくさんあれば親も安心すると思う。さらに、公園の新旧は問わず、アスレチックがあればいいと思うし、そこで遊んでくれるおじいちゃん、おばあちゃんがいてくれるといい。

理想③「高齢者が元気・長生き・活躍している」

高齢者は子どもたちとのふれあい・交流があると元気になるし、刺激にもなる。さらに、子どもたちの見守りにもつながり、親も安心できる。また、高齢者自身の趣味ができる場があればよい。こういう場がたくさんできて、最終的に「美濃加茂市にいると元気になれる」というイメージがつけばいいと思う。



理想④「環境（川・緑・農産物）が大切にされている」

環境をきれいにする意識を身につけてもらうために、月1でクリーン作戦を開催したり、清掃活動を活発にさせる。また、イノシシとの共存については、イノシシの活用を考える。さらに、美濃加茂市の木を使った公共物を増やし、経済的循環とともに資材の活用もしていきたい。

理想⑤「ワーク・ライフ・バランス（出産・子育てしやすい）」

子どもを少人数で預かってもらえる託児所がもっとたくさん増えてもいいのではないかと。そして、安心して託児所に子どもを預けることができる状況が大事だという意見もあった。美濃加茂市の企業において、父親も子どものために休める状況が当たり前になるよう、制度が整うとよい。さらに子育て中の女性が、在宅で仕事ができる環境ができれば理想的である。

理想⑥「観光客でにぎやか（木曾川、宿場町）」

建物を増やすなどのハード面には限界があるため、ソフト面で若者に受け入れられるおしゃれなイベントの開催を行い、PR方法もネットやTVで情報を得られるようにしていく。また、一日中美濃加茂市で遊ぶという考えではなく、月に何度も立ち寄ってもらえる場所になってもいいのではないかと、という考えもあった。



理想⑦「車以外でも移動ができる（徒歩、交通機関）」

電車の本数を増やしてほしい、という意見は圧倒的であった。また、美濃加茂市内は自転車で走りにくいので、自転車でも走りやすい道路整備をしてほしい。

【Bグループ（20歳代男性職員グループ）】

「理想」と「手段」が自分たちの中で混在してしまい、上手くまとめることができなかった。

自分自身の中では、理想⑦「ICTが発展している（中心に）」を掲げた時に、美濃加茂市が情報都市になればいいと思っていた。それがなぜかと言えば、情報通信技術が発展していたら空間にとらわれなくなるからである。皆さんそれぞれに、やりたいことがたくさんあってもなかなかできないのは、時間的な制限があってあきらめたりしていることが多いのだと思う。例えば、今日自分は研修のために岐阜県庁へ行き、帰ってきた。インターネットが発達し、パソコンでTV会議もできる世の中なのだから、この時間をTV会議や電話で済ますことができればその時間を有効に使える。そういったことが究極的に進めば、Aグループの話にも出ていた在宅で仕事ができる環境になり、ワーク・ライフ・バランスにつながる。





自分の時間が有効に使えるということが、45年後、美濃加茂市で実現できたら、みんなが心豊かに、住みたい、住みやすいまちになるのではないかと思います。そのため、「ICTが発展している」ということは必須ではないかと思う。

今回は、ワーク・ライフ・バランスを大切にするということを理想にしつつ、手段を考えていけたらと思う。

【Cグループ（30歳代男性職員グループ）】

Cグループは、高齢者と子どもがつながる、地域がつながる、コミュニティがつながる、そのような美濃加茂市になればよいという内容にまとまった。



理想①「多世代が一緒に暮らしている」

美濃加茂市に定着してもらうためには、近くに働く場があることが必要である。また、高齢者にとっては医療施設へのアクセスも良くなければいけない。さらに、多世代が一緒に住むために、新築を認めず、古い家に住みやすくすることも考えた。

理想②「近所で気づかい、信頼し合う（鍵かけない）」

近所の人目があれば、地域の防犯になる。自治会や子ども会にはぜひ加入してもらいたい。

理想③「人の手が入って自然や景観が守られている」

大人も子どもと一緒に自然の中で過ごさないと、何が自然なのか、いい景観なのかわからない。10年後には守るべき景観を自分たちの手でつくっていく。その際活躍するのが、豊富な知識・経験を持っている高齢者である。現在、まち中で子どもたちを見守っている「見守り隊」同様、山や川を見守って、子どもがそこに遊びに来た時に子どもも見守る「山・川のおじい・おばあ」がいることが大事ではないか。

理想④「子どもが様々な経験できる」

「森のようちえん」（自然体験を提供する保育・教育施設のこと）が理想である。子どもは怪我をすることにより、何が危険なのかがわかる。ここで活躍するのも「山・川のおじい・おばあ」である。

理想⑤「外から来た人をあたたかく迎え入れる」

知らない人がいたら声をかけ、その人の名前を知ることにより、温かく迎え入れる雰囲気になる。

理想⑥「「仕事は5時まで」の生活スタイル定着」



地域のことは地域でできること、自給自足が理想である。まずは市役所職員が率先して自給自足を行い、子ども会でも子ども農園などで野菜などをつくり自給自足をする。そこで、ここでも「おじい・おばあ」がつくり方などを指導する。

理想⑦「公共施設が魅力的で、有効活用されている」

新規で公共施設をつくるのはスペース的にも予算的にも難しい

ため、既存の建物を有効活用していこうという考え方である。公共施設だけではなく、空き家や撤退した工場・店舗の公共施設化という意見も出た。

理想⑧「店（おいしい飲食店）がたくさんあり、にぎわっている」

商業ビルを建て、1年限定のテナントを募り、1年後には移転してお客にリピーターになってもらう。また、歩行者天国や夜間の公共交通機関を充実することにより、もっと人が集まるのではないかという意見があった。

【Dグループ（40歳代、50歳代職員グループ）】

理想①「自然と都市が共生している（農作業が身近）」

Dグループは、三世代で行う農業、共同農場、住宅地近郊の農場、農地の貸し借りなど、農業を中心として考えた。また、都市部や農地、山間部をまわるサイクリングコースをつくることで共生できるのではないかと。中長期的な結果として、農業所得が増えたり、美濃加茂市産の農産物の需要が増えたり、美濃加茂市を舞台としたロケが行われることなどにつながるのではないかとという意見があった。



理想②「自然エネルギーで自給自足できる」

太陽光や薪により自給を開始し、結果、10年後には薪を使う人が増えたり、エコカー100%が実現したりするのではないかとという意見が出た。

理想③「「老い」がポジティブ・高齢者が活躍できる」

高齢者が働く場所や、集える場所をつくる。保育園の中におじい・おばあのお茶のみ場があり、同時に子どもをみているという状況があるといい。

理想④「高等教育機関・研究機関があり、学べる」

長期的には、大学の研究機関を誘致したらどうかという意見が出た。

理想⑤「地域活動が活発で、絆が強い」

10年後にはプロ野球やサッカーを呼べるようにしたい。

理想⑥「子どもがいきいき暮らせる」

大人が安心して子育てできる環境は、子どもがいきいき暮らせることにつながる。



理想⑦「市民が多言語を話せる・多文化共生」

大人も子どもも気軽に外国語学習が受けられる環境ができるといい。

理想⑧「夜の美濃加茂市ににぎわいが戻っている」

夜間でもバスが走っているまちにしたいということで、10年後には眠らないまちをつくる。

理想⑨「便利でコンパクトなまち（移動・買物等）」

スーパーの間をつなぐバスやJR美濃太田駅と名鉄線をつなげるなど、公共交通機関が充実するとよい。商業施設ができることにより働く場が近く増えることにもつながる。

(2) グループワークの結果

【Aグループ (20歳代、30歳代女性職員グループ)】 ○:短期(5年くらい)、◎:中長期(10年～)

理想① 若い世代が増える・住み続ける

- 仕事がある
 - ◎市の魅力を伝える (美味しい食べ物、良い場所)
 - ◎夜遊ぶところがある (つくる) 岐阜玉宮みたいなどころ
 - ◎若い世代が行きたいようなお店がある (食べる、着るとか)
 - ◎地元にかっこいい人・美人がいる (恋する)
- ◎愛着がわく。
地元、学校とかに

理想② 子どもたちがどこでも遊べる (自然・安全)

- 遊び方を知る
- 転んでも痛くない地面が公園とかに多い
- 体験の機会をたくさんつくる (セミ、ザリガニとり、カエルとたわむれる)
- ◎アスレチック公園をつくる

理想③ 高齢者が元気・長生き・活躍している

- 地域の人子どもを見守っている。お母さん安心
- 地域のつながりをもっと深める
- 元気な高齢者×遊びたい子どものマッチング
- 趣味がある。つくれる場
- 高齢者と若い世代がふれあえる環境をつくる
- ◎美濃加茂市民になると元気になる、といううわさ

理想④ 環境 (川・緑・農産物) が大切にされている

- クリーン作戦を月1で開催する【行事・制度】
- 清掃活動を活発に【ボランティア】
- ◎ゴミをポイ捨てしづらくらいのきれいな道路
- ◎いのベーコン【みのかも特産物】
- ◎木を使った公共物

理想⑤ ワーク・ライフ・バランス (出産・子育てしやすい)

- 子どもあずかり事業をたくさん増やす
- 小規模託児所がある (2~3人)
- ◎子育てに協力的な職場環境をひろげる
- ◎子どもを預けても安心
- ◎企業が男も女も仕事を休めるようにすること (理解があること)
- ◎家にいても仕事ができる

理想⑥ 観光客でにぎやか (木曽川、宿場町)

- 観光客のニーズに答えるスポット、行事をつくること【ハード】
- 中山道の整備【ハード】
- 興味を持ってもらえるイベントを行う
- ハードは何ともなくてもソフト面で新しい【ソフト】
- 中山道をモチーフとした観光の目玉的なもの【ソフト】
- PRをテレビやSNSなど新しいカタチですること【ソフト】
- ◎ちょっと行く×何回も という考え方の美濃加茂の遊び方がある

理想⑦ 車以外でも移動ができる (徒歩、交通機関)

- 太多線の本数を増やすこと【電車】
- 電車の本数を増やす【電車】
- 長鉄本数を増やして、運賃下げる【電車】
- 地下鉄 or バスの整備【電車】
- 自転車レーンの整備【自転車】
- 緑とふれあう機会が増える
- 自転車乗る人の意見を参考にした道路【自転車】

理想① 経済的に豊かになる（市、職員、市民）

- 法定外目的税を増やす
- 空き店舗の活用
- ◎市内最低賃金上げる
- ◎美濃加茂市にしかない会社をつくる（ブランド化独占企業みたいなもの）

理想② 昼・夜のまちなかに、にぎわいがある **コミュニティが豊かになる**

- 伊深、三和：The 自然、他の地区：The 都会 調和したまち
- 中心となる大規模商業施設が必要
- 公用語が日本語、英語
- ◎昼のまちエリア、夜のまちエリアをつくる（特化する）
- ◎駅前再開発完成

理想③ 人がやってきて経済効果を生む

- 飲み屋街をつくる
- 市内全店共通ポイントカード導入（Mポイント）
- 市内施設の入場料は全て0円
- ←既存の施設を最大限に利用
- ◎美濃加茂SAを大きく（刈谷みたいに）
- ◎電車・バス等の本数、アクセスが良くなる
- ◎混雑しない大きな道路

理想④ 自由な表現・価値観が認められる（おしゃれ）

- 街中にフリースペースを確立
- 川と調和したスタバをつくる
- チャレンジショップを率先して広告する
- 市全体で行う文化祭開催（学生～みんなで）
- ◎大学のキャンパス誘致

理想⑤ 若者が活躍できる（10、20代のまちづくり）

- 高校生のキャリア教育
- 学生たちが自主的に集まれる場所確立
- 選挙権を16歳以上に
- ◎企業家を応援する市になる

理想⑥ 安全・安心で生涯住み続けられる（長生き）

家族ぐるみで住めるまち！

- 医療費無料（65歳以上）
- 添加物使用食品に課税（その逆も）
- ◎医療費無料となる対象年齢を下げていく
- ◎自動車をなくす
- ◎市民医療費無料

理想⑦ ICTが発展している（中心に） **ワーク・ライフ・バランス**

空間にとらわれなくなるから自分の時間ができる

- 全小学校にiPad配布
- プログラミング勉強を授業で行う
- 通信教育が進んでいる
- ◎市民全員通信料タダ
- ◎市内全域Wi-Fi OK
- ◎大きな電波塔。美濃加茂スカイツリー的な

理想① 多世代が一緒に暮らしている

- 職場が近くにある
- 古い家&大きい家に住みやすくする
- ◎新築を認めない
- 医療施設へのアクセスが容易
- ◎世代間の扶助が家庭で完結【自立】

理想② 近所で気づかい、信頼し合う（鍵かけない）

- 子ども会、祭りの復活
- 地域コミュニティを強くする→誰がいるのかわかる
- 高齢者が孫以外の子どもと話ができる環境
- 安心安全なまちづくりをする。家を行き来する
- ◎近所の困り事を自分たちで解決できる【自立】
- 休日、夜間（早朝）、人が家にいる
- 近所の人の名前と顔が一致する

理想③ 人の手が入って自然や景観が守られている

- 乱開発をしない →都市計画
- 自然の中で体験（教室）
- 市民による里山の維持管理
- 有志、ボランティアの方を育てる
- ◎山のおじい、川のおじい の見守隊
- 自然の中で暮らす、遊ぶ
- 守るべき自然・景観の共通認識
- 市民による川の清掃、公園の清掃
- ◎新たな景観のデザイン

理想④ 子どもが様々な経験できる

- 小学生は塾・習い事へ行かない
- 親が過保護にならない
- 大人が自らの経験を伝える
- 体験できる場所がたくさんある
- ◎自らの興味を発表し、実現させる
- 森の幼稚園
- 失敗を許す
- 学校の授業で外部との交流
- 地域で体験できる貴重なコトやモノを残していく
- 地域が教育する（受け入れる場所がある）

理想⑤ 外から来た人をあたたかく迎え入れる

- 地元のお店がある
- 「外国人」「よそ者」という言葉を使わない。名前と呼ぶ
- （外から）美濃加茂で何をしたいのか自然を活用した美の魅力に引き寄せる
- まず誰かが声をかける
- 一緒に○○（何か）を体験する

理想⑥ 「仕事は5時まで」の生活スタイル定着

地域のことは地域でできるようになっている

- 兼業禁止をなくす
- 5時までスタイルに賛同した企業に来てもらう
- ◎地域に予算、技術がある
- ←まず市役所がやる
- ←自給自足をめざす。やってみる
- 子ども会で農業団地

理想⑦ 公共施設が魅力的で、有効活用されている 健康の森のさらなるにぎわい

- 公共施設の魅力向上。古い建物を使った公共施設をつくる
- 空き家の準公共施設化【コミュニティスペース】
- 前平公園のさらなるにぎわい
- 適切な管理と適切な投資で、さらなるにぎわう
- ◎大きなホール（分割して小部屋化）
- コミュニティスペース、会議室

【Cグループ (30歳代男性職員グループ)】 ○:短期(5年くらい)、◎:中長期(10年~)

理想⑧ 店(おいしい飲食店)がたくさんあり、にぎわっている

- お店がまとまっている【チャレンジしやすい】
- 若い人が出店できるよう優遇制度がある【チャレンジしやすい】
- 商業ビル(1年限定のテナント)→市内の店を【チャレンジしやすい】
- 素人の店的なもの【チャレンジしやすい】
- 露天商の復活
- 人が集まる
- 歩行者天国(or 歩道)
- 大型駐車場のみ
- ◎公共交通機関(特に夜)

【Dグループ (40歳代、50歳代職員グループ)】 ○:短期(5年くらい)、◎:中長期(10年~)

理想① 自然と都市が共生している(農作業が身近)

- 共同で耕作する土地【アグリ】
- 共同農場【アグリ】
- 農業をする機会(体験会など)【アグリ】
- 住宅地の周辺に農地【アグリ】
- モデル地域。太田本町、下古井、空き地グリーン化(芝生、樹木)【アグリ】
- 農業を教えるよ学校(スクール)、講座(年1回)【アグリ】
- 農地を貸してくれる人、農業を教えてくれる人がいる【アグリ】
- 農地を市民に貸し出す【アグリ】
- ◎農業所得が増える【アグリの結果】
- ◎美濃加茂市をロケ地にして農業ドラマをつくる【アグリの結果】
- ◎美濃加茂市の農作物が欲しいという人がいる【アグリの結果】

理想② 自然エネルギーで自給自足できる

- 市役所の屋根に太陽光つける【自給の開始】
- 薪ストーブ購入補助金つくる【自給の開始】
- ◎美濃加茂市の山を買う。そこをエネルギー源に【実現したい夢】
- ◎薪を使う人が多くいる【実現したい夢】
- ◎エコカー100%【実現したい夢】

理想③ 「老い」がポジティブ・高齢者が活躍できる

- ポジティブ「老後」のモデル場所をつくる。補助金も。じいちゃん、ばあちゃんの仕事。みんな
で楽しくやる【じじばばの居場所】
- 高齢者が高齢者を支える施設ができる【じじばばの居場所】
- 高齢者が働く場所ができる【じじばばの居場所】
- 老人が集まる場所・施設【じじばばの居場所】
- おじい・おばあど保育園が一緒。保育園の横がお茶のみ場
【世代交流(子どもは、おじい・おばあでみている)】
- ◎ベイマックス、イケメン【チャレンジ】

理想④ 高等教育機関・研究機関があり、学べる

- 研究のフィールド【アカデミック、アグリカルチャー】
- 干し柿サミット開催をきっかけに食を見直すアカデミー創設【アカデミック、アグリカルチャー】
- 学校つくる場所もしくは今の学校で特区にするとか【アカデミック、アグリカルチャー】
- 中部台、中蜂屋エリアの食生活企業とのタイアップ。ミツカン、大阪屋、若尾製菓、タンドールなど【高等教育文化】
- 森林文化アカデミーを美濃加茂市へ誘致する【高等教育文化】
- 小中一貫教育条例。飛び級認定【高等教育文化】
- ◎大学誘致。学校をつくる【高等教育文化】

理想⑤ 地域活動が活発で、絆が強い

- 自治会、野球、バレー、運動会、サークル活動【人材】
- カリスマ、引っ張ってくれる人、信頼のある人【人材】
- ◎地域スポーツクラブ（プロ野球、サッカー）【人材】

理想⑥ 子どもがいきいき暮らせる

- 外で安心して遊べる環境づくり【遊び場】
- 近くに遊べる場所がある【遊び場】
- 子どもが遊べる広い場所がある（里山、川）【遊び場】
- 山の中を走れるように森林整備する【里山4年第一歩（ゆき）】
- ◎小学校通学班エリアごとに、全面芝生による歩行エリアを設ける【さらに遊び場】
- ◎雨天でも室内で遊べる場所がある【さらに遊び場】
- ◎便利じゃないまちづくり【さらに遊び場】
- ◎大人が安心して子育てできる環境【さらに遊び場】
- ◎野球の雨天練習場がある【さらに遊び場】

理想⑦ 市民が多言語を話せる・多文化共生

- どこかの学校でスピードラーニングを昼休み中流す【教育基盤】
- 保育園から英語教育が受けられる【教育基盤】
- 小学生から英語を教える（無料で）【教育基盤】
- 外国語学習（子どもも大人も）【教育基盤】
- 英会話教室が無料で受けられる【教育基盤】
- 企業でポルトガル語の勉強をする、場ができる【教育基盤】
- ポルトガル語の授業がある【教育基盤】
- 週一、英語day、ポルトガル語dayを学校でつくる【教育基盤】
- ◎国際化、グローバル化。英語教育特区（教師はグローバル企業から）
- ◎多文化交流を活発に行う

理想⑧ 夜の美濃加茂市ににぎわいが 戻っている

夜の街産業振興課

- 夜間開業している店
- 歓楽街をつくる
- カジノ特区
- にぎわいのエリアにバスが走っている【バス】
- ◎不夜城エリアと決め（都市計画）、太陽光発電で電力をまかなう
- ◎眠らないまちのエリアを決めて、お店に安く誘致する。補助金つくる

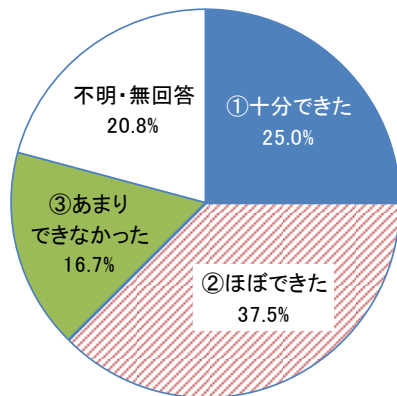
理想⑨ 便利でコンパクトなまち（移動・買物等）

- イオン、アウトレットモール誘致
- 市街地の空き家を有効利用する
- スーパーめぐりバス。病院経由【あい愛バス（地域振興課）】
- 毎日運行しているバス【あい愛バス（地域振興課）】
- 交通インフラの整備【あい愛バス（地域振興課）】
- お店をつなぐ交通ネットワークができる【あい愛バス（地域振興課）】
- あい愛バスに都市伝説を【あい愛バス（地域振興課）】
- ◎働く場が増える（近くに）【お店からの雇用（結果）】
- ◎JR美濃太田から名鉄が出ている

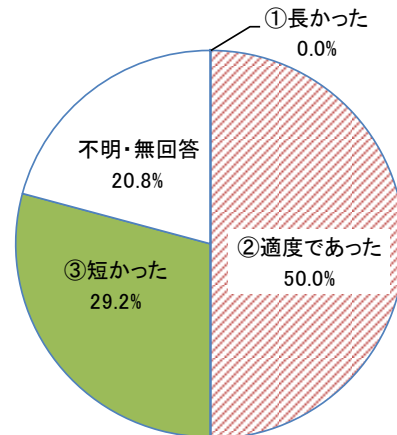


3 参加者の意見・感想

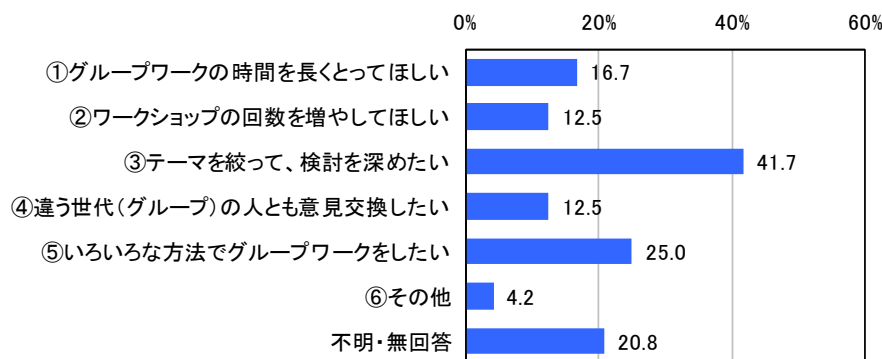
【ワークショップでは十分に発言できましたか】



【ワークショップの討議時間はいかがでしたか】



【次回のワークショップについて、何かご希望がありますか】



【本日のテーマについて、言い足りなかったことや、追加意見など】

- ・美濃加茂市の特徴でもある外国人市民を生かしたものが、もっとあるといいと思う。
- ・子どもに対する意見が多くあった。10年後のまちには、この子どもたちが大人として活躍しているはず。結局は教育（社会教育）が大切だと感じた。
- ・手法はいろいろあるけれど、究極のところは人の意識を変えるところだと思うので、とても難しいテーマだと思う。
- ・どこまでが理想でどこからが現実なのか。判断が難しかった。
- ・本当に実現できることを、とことん話し合いたい。夢もいいが、やらなければ何も変わらない。
- ・「条件」が理想像の具体化に過ぎない部分もあった。「条件」とするならば、現状→見過ぎしのデータ分析も必要な気がする。

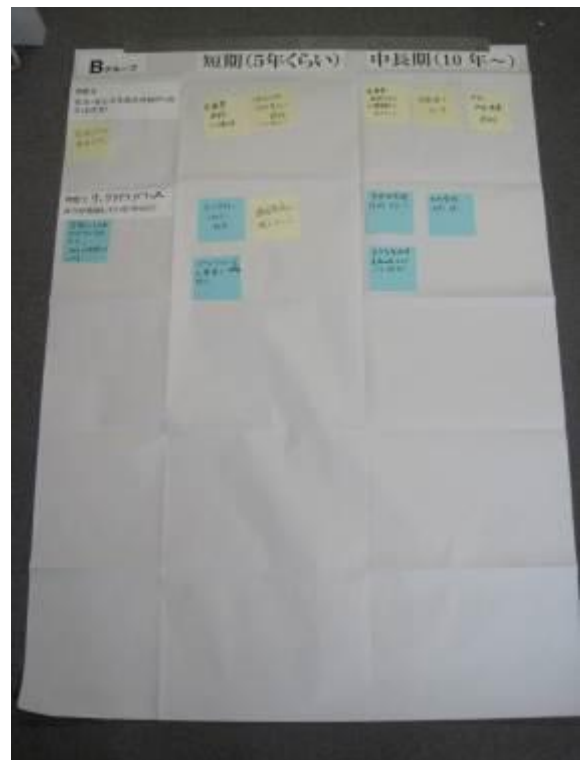
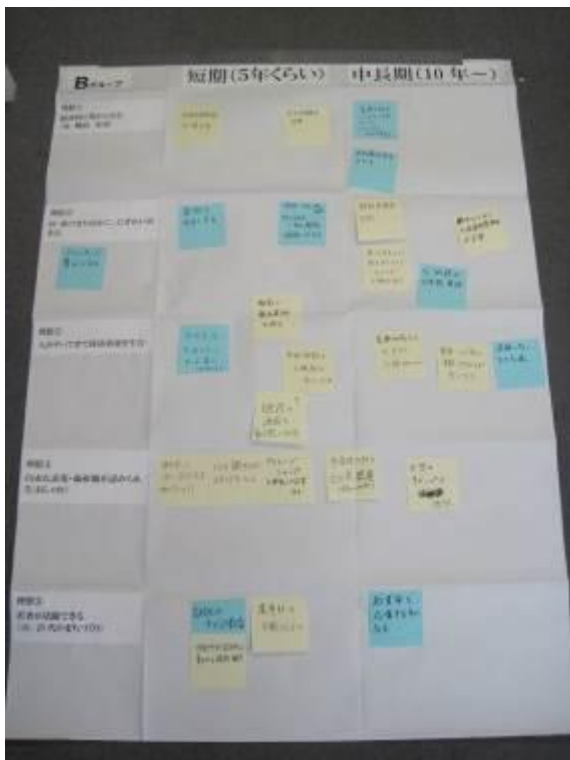
【その他意見】

- ・次回は少しテーマを絞って、検討ができるとよいと感じた。
- ・ワークショップの時間を長くしてもいいのでは。9時までとか。
- ・ワークショップの討議時間について、自分達の時間配分がまずかった。
- ・内容が抽象的で具体性に欠ける気もする。あえてそうしているのかもしれないが、これだけのメンバーが集まって夢を語るだけではもったいない気もする。

【Aグループ (20歳代、30歳代女性職員グループ)】



【Bグループ (20歳代男性職員グループ)】



【Cグループ (30歳代男性職員グループ)】



【Dグループ (40歳代、50歳代職員グループ)】

